



ミャンマー国よりお客様をお迎えしました！

部長 松本安博

暦の上ではまもなく立春を迎えますが、寒さ厳しい日が続いています。初等部では、今のところ例年ほどのインフルエンザの流行はみられません。バランスのよい食事と十分な睡眠とともに、手洗いとうがいの励行をよろしくお願ひいたします。

6年生は小学校生活、残すところあとわずかとなっていました。「立つ鳥跡を濁さず！」、健康にくれぐれも留意して一人ひとりの目標に向かい、ベストを尽くすことを祈念しています。

さて、新聞にも報道されたので、ご存じの方もいらっしゃることと思いますが、1月18日（月）にミャンマー国より、教育省（我が国の文部科学省）の事務次官様をはじめ18名のお客様をお迎えしました。当日は前夜からの大雪による積雪で交通機関の乱れもあり、1時間遅れのご到着となりました。お客様のほとんどの方が、初めて雪が降るのを見たとのことで、とても寒いと話されていました。

この日は初等部生の登校も遅れましたが、予定通り松本講堂に全校児童が集まり、「ウェルカム集会」を開きました。ステージスクリーンに大きくミャンマー国の国旗が映し出される中、拍手で一行をお迎えしました。全校児童が声を合わせて「ミンガーラーバー！」の挨拶に、お客様の顔がほころびました。司会進行は、6年生を中心に児童が務めてくれました。児童の手作りカードをプレゼントした後、各学年の代表児童がステージ前に立って、ウェルカムスピーチをしました。どの児童も、その日に参観していただく授業にも触れながら歓迎の気持ちを伝えました。先生の力を借りず、すべて英語で話す児童、それを日本語で通訳する児童の姿に、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。

私は、このお客様とのやり取りや全校児童の表情を見ていて、1年生から週1時間の英語学習や3年生からの放課後英語教室（45分間）・講習（60分間）、英語検定のチャレンジなど、日頃の学習成果がここに集まり、表れたように思いました。

続いて課外合唱クラブの「地球星歌」と全校児童による校歌を聞いていただいた後、幼稚部と初等部の学びの様子を参観していただきました。お昼には、授業を行った初等部の先生方とランチミーティングを行い、午後には教育課程や指導法についての協議を行って、帰路の途につかれました。

新しい学習指導要領の骨格がまもなく提示されようとしています。現在高学年から始まる英語活動が中学年から始められるとの情報もあります。大学教育についても、学修者能動型のアクティブラーニングの重要性が指摘され、平成31年度・32年度あたりから大学入学制度が変わるとの声も届いてきます。

初等部では、高度情報化やグローバル化、技術革新が急速に進む未来社会を、志高く自主自発的かつ創造的に生きる人の姿を見据えながら、これからも新しい教育課程の編成と授業改善に努めていきたいと考えています。



【ウェルカム集会の様子】